

## 淡路市新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金申請時確認書

### 誓約事項

- 1 受給中、以下の求職活動等要件の全てを満たすこと。
  - 月1回以上、自立相談支援機関の面接等の支援を受けること。
  - 月2回以上、公共職業安定所又は地方公共団体が設ける公的な無料職業紹介の窓口で職業相談等を受けること。
  - 原則週1回以上、求人先へ応募を行い、又は求人先の面接を受けること。なお、生活保護を申請し、当該申請に係る処分が行われるまでの間は、この限りではありません。
- 2 申請者及び当該申請者と同一の世帯に属する者(以下「申請者等」という。)のいずれもが、生活保護費又は職業訓練受講給付金を受けていないこと。
- 3 申請者等のいずれもが、他の自治体に対し、新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金を申請していないこと。
- 4 申請者等のいずれもが暴力団員ではないこと、また、受給期間中においても暴力団員にならないこと。
- 5 偽りその他不正の行為によって新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金を受けたときは、不当利得として返還すること。

### 同意事項

- 1 以下のいずれかに該当した場合は、支給が中止されること。
  - 所要の求職活動等を行わない場合
  - 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金受給者(以下、単に「受給者」という。)が、常用就職に伴い得られた収入が収入基準を超える場合
  - 申請内容に偽りがあった場合
  - 支給決定後、受給者が禁錮刑以上の刑に処された場合
  - 支給決定後、受給者又は当該受給者と同一の世帯に属する者が暴力団員と判明した場合
  - 支給決定後、受給者が生活保護費を受給した場合
  - 支給決定後、受給者が職業訓練受講給付金を受給した場合
  - 支給決定後、受給者が偽りその他不正な手段により再貸付、緊急小口資金又は総合支援資金(初回)の特例貸付の申請を行ったことが明らかになった場合
  - 支給決定後、受給者が他の自治体から新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金を受給した場合
- 2 支給要件の確認に必要な範囲で、申請者等の資産、収入、緊急小口資金等の特例貸付、職業訓練受講給付金、生活保護の利用状況等について、官公署、社会福祉協議会、自立相談支援機関又は銀行その他の関係機関(以下「関係機関」という。)に照会すること。  
また、市の照会に対し、関係機関が報告することについて、申請者等が同意している旨を当該関係機関に伝えること。
- 3 生活支援及び適正な公的給付等の実施に必要な範囲で、新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金受給者の情報について、自立相談支援機関、福祉事務所、社会福祉協議会に提供すること。
- 4 支給に必要な範囲で、暴力団員該当性の確認につき、市が官公署から情報を求めること。

上記誓約事項及び同意事項について確認の上、誓約し、及び同意します。

令和 年 月 日

淡路市長 様

申請者住所

申請者氏名

### 確認事項(以下に該当する場合は、 に✓を入れてください。)

仕事以外の生活上の困りごとについて支援の希望がある。

生活保護の相談の希望がある。

申請時の添付書類

- 1 本人確認書類  
運転免許証、保険証等の写し
- 2 【自立支援金申請書(様式第1号の1)の申立事項7の 、 に該当する場合】  
再貸付の借用書(控)の写し(再貸付の貸付決定通知書の写しを可とします。)  
再貸付の振込状況が分かる通帳( 1 )の写し  
が用意できない場合( 2 )は、再貸付不承認・過去借入状況申告書(様式第1号の3)  
【自立支援金申請書(様式第1号の1)の申立事項7の に該当する場合】  
再貸付の不承認通知の写し  
が用意できない場合( 2 )は、緊急小口資金及び総合支援資金の貸付の借入状況が分かる通帳( 1 )の写し及び再貸付不承認・過去借入状況申告書(様式第1号の3)  
【自立支援金申請書(様式第1号の1)の申立事項7の に該当する場合】  
再貸付不承認・過去借入状況申告書(様式第1号の3)  
緊急小口資金及び総合支援資金の貸付の借入状況が分かる通帳( 1 )の写し  
【自立支援金申請書(様式第1号の1)の申立事項7の 、 に該当する方】  
緊急小口資金及び総合支援資金の初回貸付の借用書(控)の写し(貸付決定通知書の写しを可とします。)  
が用意できない場合( 2 )は、緊急小口資金及び総合支援資金の貸付の初回借入状況が分かる通帳( 1 )の写し及び再貸付不承認・過去借入状況申告書(様式第1号の3)
- 3 収入関係書類  
申請者及び当該申請者と同一の世帯に属する者のうち、収入がある者についての申請日が属する月の収入が確認できる書類の写し
- 4 金融資産関係書類  
申請者及び当該申請者と同一の世帯に属する者の、申請日時点の金融機関の通帳( 1 )の写し
- 5 生活保護関係書類( 3 )  
生活保護を申請中である場合は、保護申請書の写し(保護の実施機関の受領印があるもの)
- 6 振込先口座( 1 )が分かる書類  
通帳の該当部分の写し等
  - 1 電子的にのみ管理している場合(いわゆるweb通帳の場合)は、その画面の写しを可とします。
  - 2 社会福祉協議会から発行された書類が用意できない場合は、社会福祉協議会に対し、書類の再交付を受けることは不要です。
  - 3 生活保護を申請中である場合に限り、生活保護を申請中でない場合は、自立支援金申請書(様式第1号の1)に公共職業安定所から発行された求職番号又は地方公共団体が設ける公的な無料職業紹介の窓口の名称及び申込み日時の記入が必要です。